

# 北 海 道 文 化 賞

ふしきだ みつ お  
伏木田 光 夫

長年にわたり、洋画家として多くの作品を創作し、数々の賞を受賞するとともに、昭和34年から今年で43回目の個展を開催するなど、意欲的な活動を続け、関係者から高い評価を得ている。また、出身地である浦河町に主要作品350点を寄贈、寄託して町立伏木田光夫美術館を立ち上げるなど、洋画の発展及び地域文化の振興に大きく貢献している。

- 昭和37年 全道展会員
- 昭和38年 国画会・国画賞受賞
- 昭和40年 浦河文化協会副会長・浦河美術協会会長（～昭和44年）
- 昭和44年 渡欧、サロン・ド・トーヌ。ナショナル・ボザール出品
- 昭和45年 第5回トラブール国際グランプリ展招待作家に選ばれる
- 昭和50年 東京文芸春秋画廊個展  
以後52、54、56、58、60、62、H 2、5、8、11、14年同画廊にて個展
- 昭和61年 グループ朔結成、平成7年まで10回開催
- 平成元年 全道展事務局長に就任（～平成4年）
- 平成9年 伏木田光夫展 一魂のカテドラルを求めて－  
札幌芸術の森美術館（7月19日～9月7日）
- 平成10年 浦河町立伏木田光夫美術館開館
- 平成11年 札幌市民芸術賞受賞
- 平成18年 札幌時計台ギャラリー一個展（札幌個展43回展）